Cited document 2

(19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公閱番号

# 特開平10-74040

(43)公開日 平成10年(1998) 3月17日

(51) Int.Cl.

酸別記号 庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

G09B 23/30

G09B 23/30

審査請求 有 請求項の数1 FD (全 5 頁)

(21)出願番号

特額平8-248497

(22)出願日

平成8年(1996)9月2日

(71) 出願人 592109019

小川 貧幸

東京都豊島区巣鴨4-11-12

(72) 発明者 小川 貸幸

東京都豊島区巣鴨4-11-12

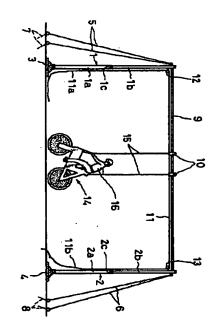
(74)代理人 弈理士 平井 二郎

# (54) 【発明の名称】 ダミー人形及び自転車の衝突試験装置

## (57)【要約】

【課題】組立、分解、持ち運びが可能であり、走行している自転車に自動車が衝突したときの状態を現実的に具現させるダミー人形及び自転車の衝突試験装置を提供する。

【解決手段】台座3. 4によって直立した左右一対の支柱1. 2にガイドレール9水平方向に掛け渡し、このガイドレール9に走行可能に案内した一対の滑車1 0に切断可能な吊り下げ紐15を介してダミー人形16を分離可能に乗せた自転車14を吊り下げ、前記ガイドレール10と平行に張設し、かつ左右の支柱1. 2に沿って垂れ下げられ前記滑車10と結合した滑車移動用ローブ11によって自転車を走行移動可能にし、前記自転車14はウレタン材の車体フレームとゴム材のハンドルとゴムタイヤを装着したウレタン材の車輪とから構成した。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 台座によって直立した左右一対の支柱に 水平方向に掛け渡されたガイドレールと

前記ガイドレールに走行可能に案内された一対の滑車に 切断可能な吊り下げ紐を介して吊り下げられ、ダミー人 形を分離可能に乗せた自転車と、

前記ガイドレールと平行に張設し、かつ左右の支柱に沿って垂れ下げられ、前記滑車と結合した滑車移動用ローブとを備え、

前記自転車はウレタン材の車体フレームとゴム材のハンドルとゴムタイヤを装着したウレタン材の車輪とから構成されていることを特徴とするダミー人形及び自転車の衝突試験装置。

### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、走行している自転車に自動車が衝突した時の状態を現実的に具現させるダミー人形及び自転車の衝突試験装置に関するものである。

[0002]

【従来の技術】ダミー人形をロープでブランコのように 吊り下げて、これに自動車を衝突させるようにした定置 式の衝突試験装置は公知である。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】走行している自転車に自動車が衝突する事故も多々発生している。その多くは幼児、学童が一時停止や安全確認を怠る場合に発生しており、その事故の怖さを教えなくてはならない。そのためには、衝突したときに、人体や自転車がどのようにダメージを受け、どのように飛び跳ね状態になるかを現実的に具現させる必要があり、また、その教育のために衝突試験装置を幼稚園の園庭や小学校の校庭等に持ち運んで容易に組立、分解可能にすることが理想的である。

【〇〇〇4】上記従来の衝突試験装置では定置式であり 組立、分解、持ち運びは不可能で、しかもローブでブラ ンコのように吊り下げられて静止しているダミー人形に 衝突したとき、吊り下げられたローブの許容範囲内での ダミー人形の飛び跳ね状態が具現されるだけであり現実 性がない。

【0005】本発明の目的は、組立、分解、持ち選びが可能であり、走行している自転車に自動車が衝突したときの状態を現実的に具現させるダミー人形及び自転車の衝突試験装置を提供することである。

[0006]

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するための本発明の要旨は、台座によって直立した左右一対の支柱に水平方向に掛け渡されたガイドレールと、前記ガイドレールに走行可能に案内された一対の滑車に切断可能な吊り下げ紐を介して吊り下げられ、ダミー人形を分離可能に乗せた自転車と、前記ガイドレールと平行に張

設し、かつ左右の支柱に沿って垂れ下げられ、前記滑車と結合した滑車移動用ローブとを備え、前記自転車はウレタン材の車体フレームとゴム材のハンドルとゴムタイヤを装着したウレタン材の車輪とから構成されていることを特徴とするものである。

[0007]

【発明の実施の形態】以下本発明の実施例を図面に基づいて説明する。図1において、1、2は台座3、4によって直立した左右一対の支柱である。この支柱1、2は下部支柱1 e、2 eと、この下部支柱1 e、2 eにボルト蝶ナット1 c、2 cで締付結合する上部支柱1 b、2 bとから構成され、張りローブ5、6とアンカー7、8 とによって直立状態が固定される。

【0008】前記左右の支柱1、2の間にはガイトレール9が水平方向に掛け渡される。このガイトレール9はパイプでもよいし、図2で示すようにガイドロープ9gの何れでもよい。

【0009】前記ガイドレール9は所定の間隔で一対の 滑車10が走行可能に案内されている。この一対の滑車 10にはダミー人形16を分離可能に乗せた自転車14 が切断可能な吊り下げ紐15を介して吊り下げられる。 前記切断可能な吊り下げ紐15はダミー人形16を乗せ た自転車14の吊り下げ荷重には耐え、衝突荷重では切れるような強度を持った紙紐等が適当である。

【0010】さらに、前記ガイドレール9の下面には前記滑車10と結合して平行に張設された滑車移動用ロープ11が設けられている。この滑車移動用ロープ11は、その左右を支柱1、2に取り付けられている滑車12、13を介して支柱1、2に沿って垂れ下げられ、この垂れ下げ部分11 a、11 bを把持して引張操作するようにしている。

【〇〇11】前記自転車14は図3及び図4で示すように、ウレタン材の車体フレーム14eとゴム材のハンドル14fとゴムタイヤ14d、14eを装着したウレタン材の前輪14b及び後輪14cとから構成されている。

【0012】また、前記自転車14にダミー人形16を分離可能に乗せる手段は図3及び図4で示すように、ダミー人形16の両手部、両足部及び尻部とを自転車14に対しタッチ・クローズ型ファスナー17a、17b、17cで接合及び分離可能としている。

【0013】本発明は上記の通りの構成であるから、支柱1.2及びガイドレール9は分解して幼稚園の園庭や小学校の校庭等に持ち運び、組み立てて張りローブ5.6とアンカー7.8とによって固定し、ダミー人形16を乗せた自転車14を滑車10から垂れ下がっている吊り下げ紐15にバランスして吊り下げることにより準備が完了される。

【〇〇14】その後、自動車を自転車14に向けて発進させ、同時に滑車移動用ローブ11の垂れ下げ部分11

a 又は11 b を把持して引張操作し、適当な早さで滑車10を介してダミー人形16を乗せた自転車14を左又は右方向に移動してこれに自動車を衝突させる。

【〇〇15】自動車がダミー人形16を乗せた自転車14に衝突すると、吊り下げ紐15が切断し、ダミー人形16は自転車14から分離して自転車14及びダミー人形16は何れも飛び跳ねる。

【〇〇16】このとき、ダミー人形16を乗せた自転車14を左又は右方向に移動行速度や自動車の走行速度、あるいはダミー人形16を乗せた自転車14に対する自動車の衝突方向等によってダミー人形16及び自転車14の飛び跳ね状態が変化するが、何れにしてもダミー人形16と自転車14は分離して飛び跳ねるため、ダミー人形16と自転車14が自動車のボンネット上やフロントガラスに当たったりして路面上に投げ出され、走行している自転車に自動車が衝突したときの状態を現実的に具現させる。

【〇〇17】従って、幼児、学童に対し一時停止や安全 確認を怠ると、その事故の怖さをリアルに教えることが でき、交通安全教育に役立つのである。

【〇〇18】また、ダミー人形16は勿論のこと、自転車14はウレタン材の車体フレーム14aとゴム材のハンドル14fとゴムタイヤ14d、14eを装着したウレタン材の前輪14b及び後輪14cとから構成されているため、自動車が衝突しても自転車14が破損することがなくダミー人形16と共に反復して使用することができ、自動車も傷や破損をすることがない。

### [0019]

【発明の効果】以上述べたように本発明のダミー人形及び自転車の衝突試験装置によると、組立、分解、持ち運びが可能であり、走行している自転車に自動車が衝突した時の状態を現実的に具現させることができ、殊に幼児、学童に対し一時停止や安全確認を怠ることによる事故の怖さをリアルに教え交通安全教育に供する利点を有している。

# 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の正面図

【図2】本発明の他の実施例を示す正面図

【図3】本発明に用いられるダミー人形と自転車の側面

#### 図

【図4】本発明に用いられるダミー人形と自転車の正面 図

## 【符号の説明】

1 支柱

1 a 下部支柱

1 b 上部支柱

1c ボルト蝶ナット

2 支柱

2 a 下部支柱

26 上部支柱

2 c ポルト蝶ナット

3 台座

4 台座

5 引張ローブ

6 引張ローブ

7 アンカー

8 アンカー

9 ガイドレール

9 a ガイドロープ

10 滑車

11 滑車移動用ローブ

11a 垂れ下げ部分

116 垂れ下げ部分

12 滑車

13 滑車

14 自転車

14a ウレタン材の車体フレーム

14b ウレタン材の前輪

14c ウレタン材の後輪

14 d ゴムタイヤ

14e ゴムタイヤ

14f ゴム材のハンドル

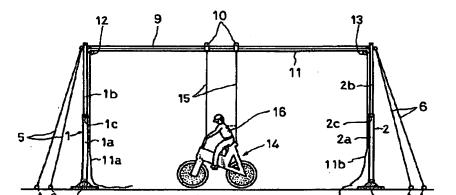
15 吊り下げ紐

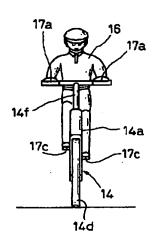
16 ダミー人形

17g タッチ・クローズ型ファスナー

176 タッチ・クローズ型ファスナー

17c タッチ・クローズ型ファスナー





[図4]

